

すかがわ統計月報 3年8月発行

須賀川公共職業安定所
石川地方職業相談室

962-0865 須賀川市妙見121-1 (電話)0248-76-8609
963-7845 石川郡石川町字高田234-1 (電話)0247-26-2484

管内の雇用情勢(令和3年7月内容。パートを含む)

求人倍率

■新規求人倍率 1.96倍(対前年同月比0.53ポイント増、対前月比0.12ポイント増)

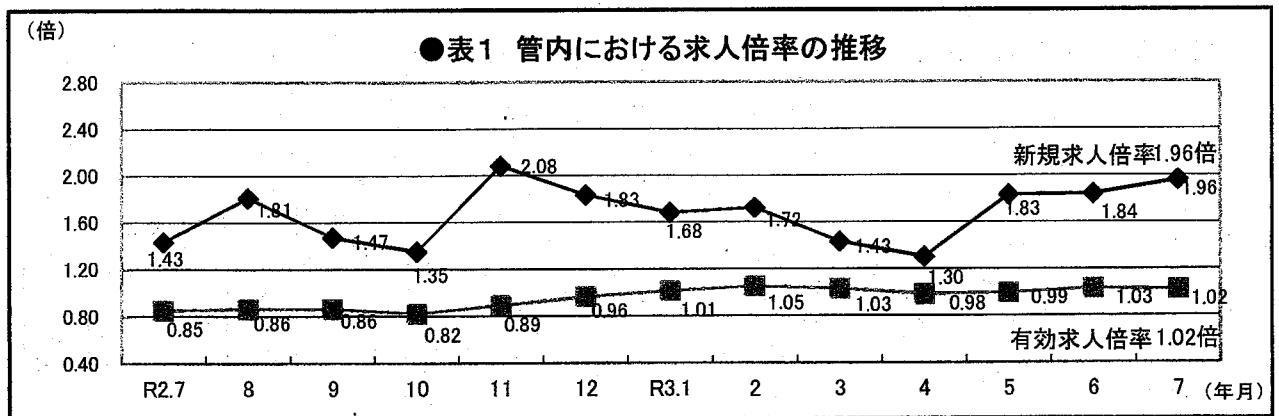
7月の新たな求職申込みは344件、求人申込みは674人分でした。
これは、1件の求職申込みに対し1.96人分の求人が申込みされたことになります。

※新規求人倍率:新規求人数/新規求職者数
新規求人倍率は、労働力需給状況の変化の先行的な動きをとらえることができるとされています。

■有効求人倍率 1.02倍(対前年同月比0.17ポイント増、対前月比0.01ポイント減)

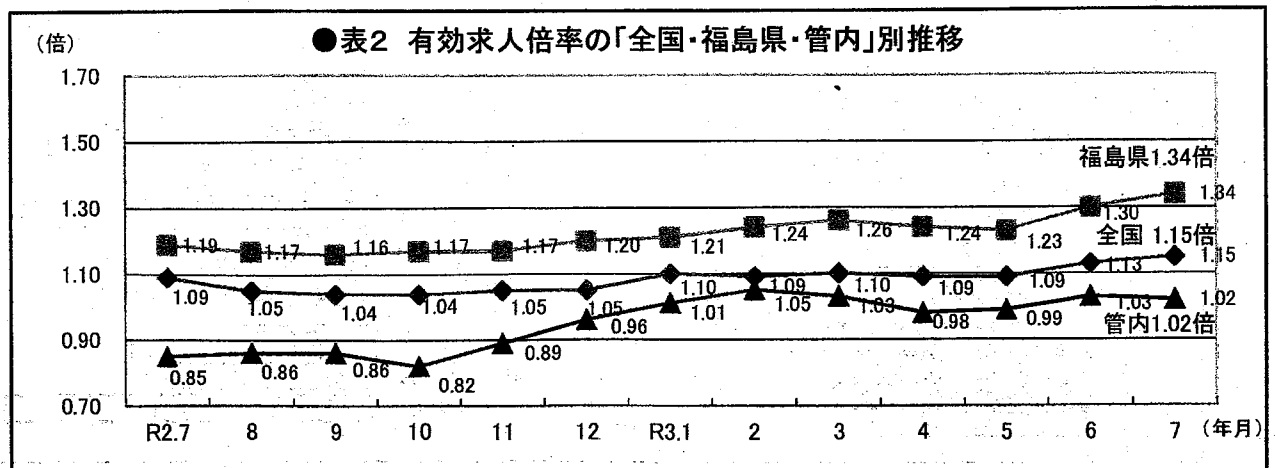
6月から引き続き求職している方と7月に新たに求職申込みした方の合計が1,862人であったのに対し、6月から繰り越された求人と7月に新たに申込みされた求人の合計は1,901人でした。
これは、1人の求職者に対し1.02人分の求人になります。

※有効求人倍率:有効求人数/有効求職者数
有効求人倍率は、労働市場の需給状況を示す代表的な指数とされています。

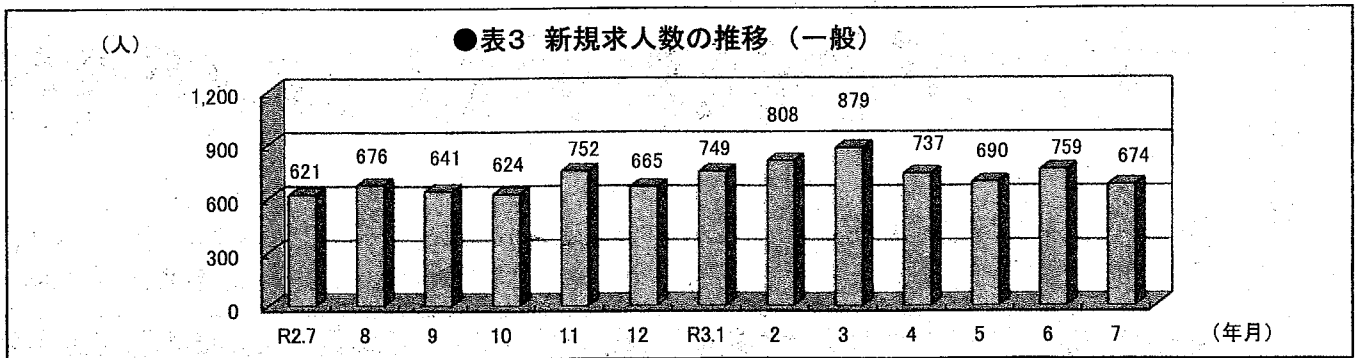


■有効求人倍率 【全国】1.15倍(対前年同月比0.06ポイント増、対前月比0.02ポイント増)
【福島県】1.34倍(対前年同月比0.15ポイント増、対前月比0.04ポイント増)
【管内】1.02倍(対前年同月比0.17ポイント増、対前月比0.01ポイント減)

※なお、令和2年12月以前の数値は、令和3年1月分公表時に新季節指数により改訂されています。



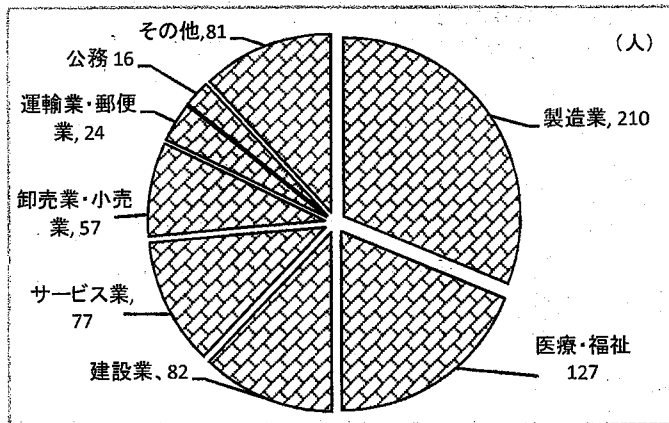
■新規求人数 674人(対前年同月比8.5%増、対前月比11.2%減)(表3)



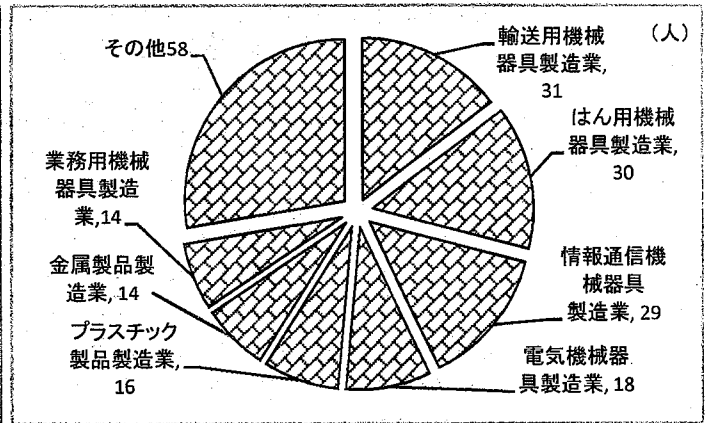
7月の新規求人数を産業別に見ると、製造業が210人と最も多く、全体の31.2%を占めており、次いで医療・福祉、建設業、サービス業となっています。(表4)

また、製造業求人の内訳は、輸送用機械器具製造業が31人と最も多く、製造業全体の14.8%を占めており、次いで、はん用機械器具製造業、情報通信機械器具製造業、電気機械器具製造業となっています。(表5)

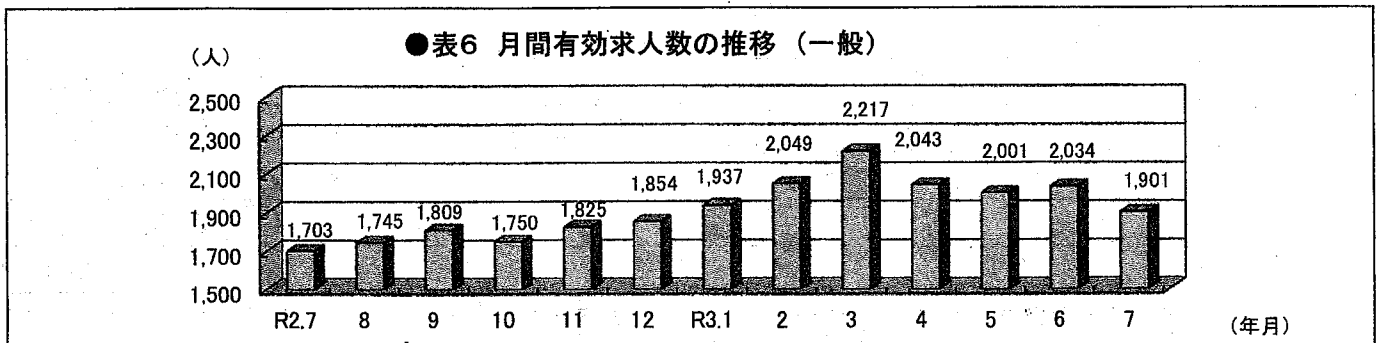
●表4 新規求人数の産業別内訳(7月)



●表5 新規求人数(製造業)内訳(7月)



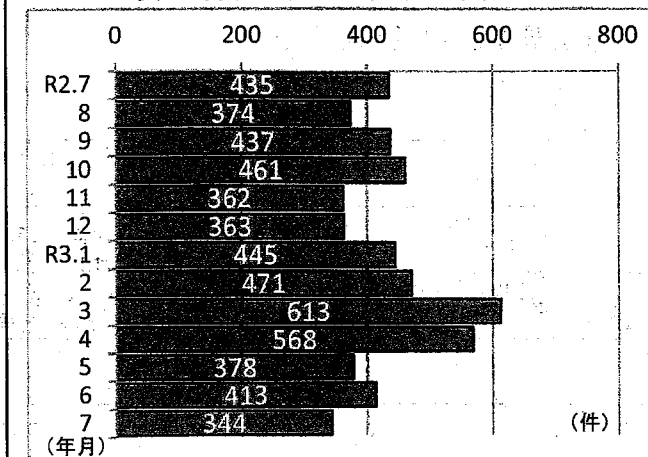
■月間有効求人数 1,901人(対前年同月比11.6%増、対前月比6.5%減)(表6)



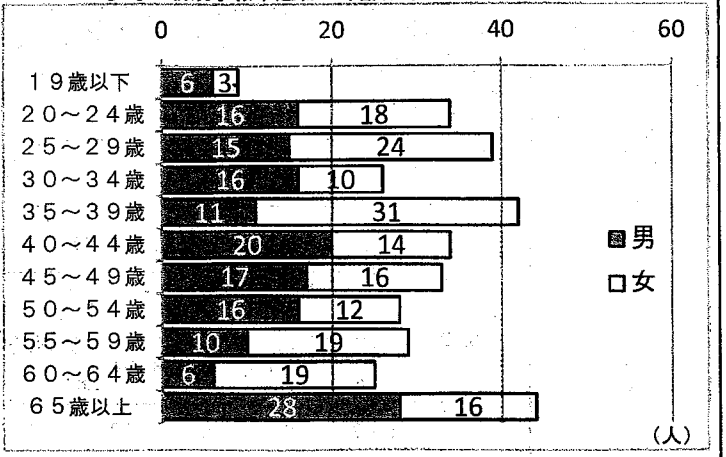
求 職

■新規求職申込件数 344件(対前年同月比20.9%減、対前月比16.7%減)(表7)

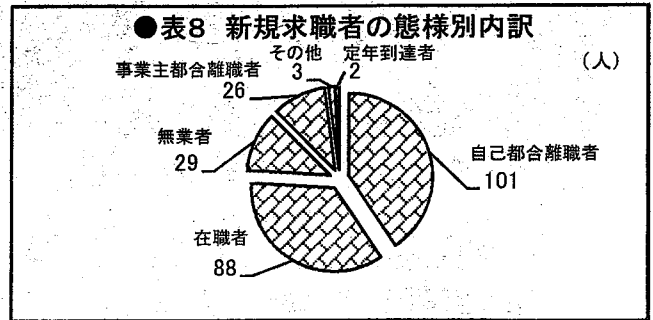
●表7 新規求職申込件数の推移(一般)



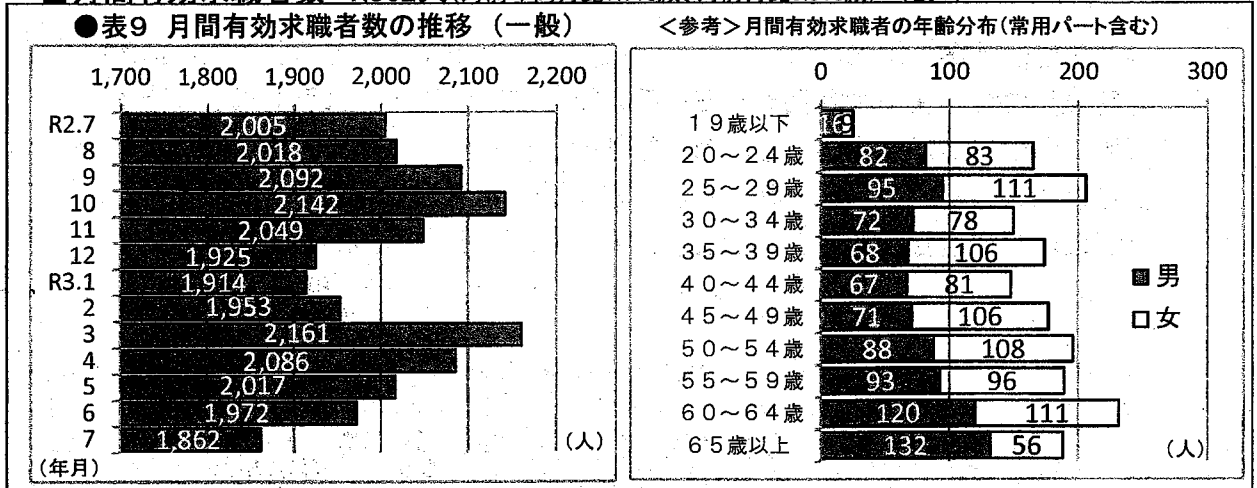
<参考>新規求職申込者の年齢分布(常用パート含む)



7月の新規求職申込件数249件(パートを除く常用。)を態様別に見ると、自己都合離職者が101人と最も多く、全体の40.6%を占めており、次いで在職者(構成比35.3%)、無業者(同11.6%)、事業主都合離職者(同10.4%)、その他(同1.2%)となっています。(表8)



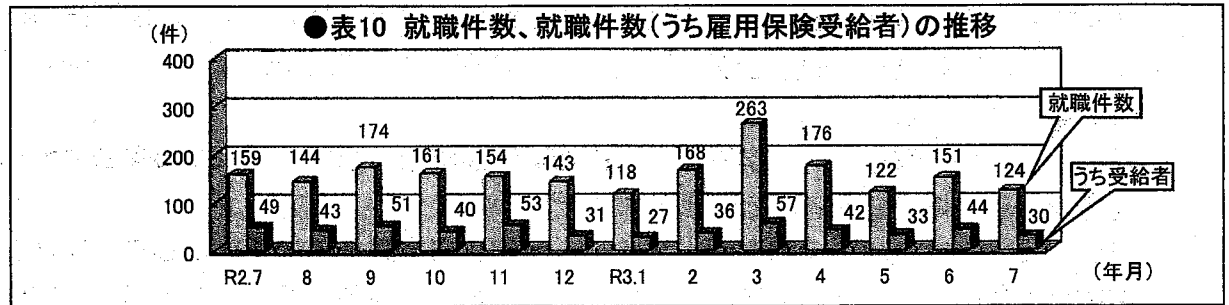
■月間有効求職者数 1,862人(対前年同月比7.1%減、対前月比5.6%減)(表9)



敷地内駐車場が満車の場合、第2駐車場をご利用下さい。

就職

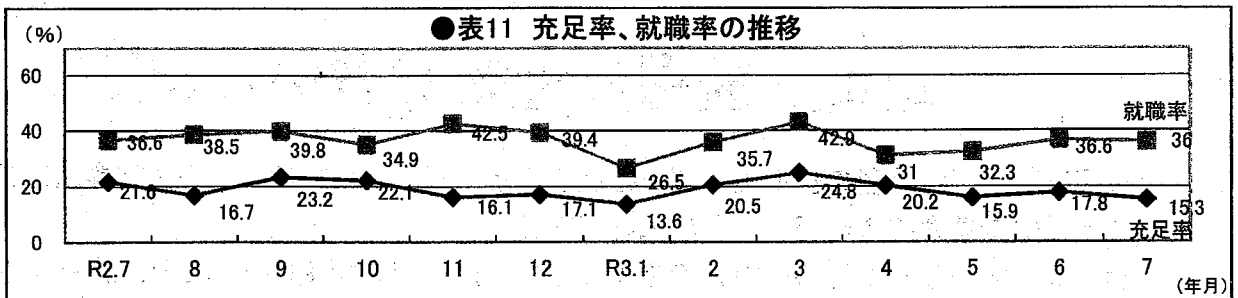
■就職件数 124件(対前年同月比22.0%減、対前月比17.9%減)
 ■就職件数のうち保険受給者 30件(対前年同月比38.8%減、対前月比31.8%減)(表10)



充足率、就職率

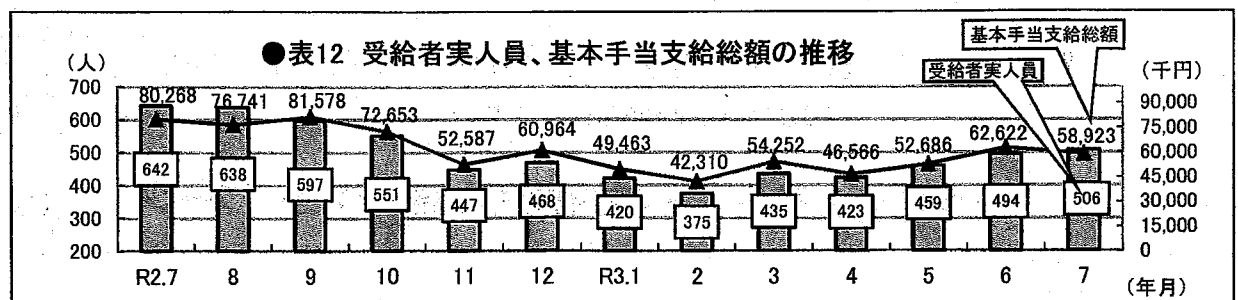
■充足率 15.3%(対前年同月比6.3ポイント減、対前月比2.5ポイント減)
 ■就職率 36.0%(対前年同月比0.6ポイント減、対前月比0.6ポイント減)(表11)

充足率は、新規求人のうちどれだけ充足したかを示します。就職率は、新規求職のうちどれだけ就職したかを示します。



雇用保険

■雇用保険受給者(一般)実人員 506人(対前年同月比21.2%減、対前月比2.4%増)
 ■雇用保険基本手当支給総額 58,923千円(対前年同月比26.6%減、対前月比5.9%減)(表12)



高校生の採用選考を行う企業の皆さまへのお願い

○令和4年3月高等学校卒業者の就職について

感染拡大防止に留意するほか、学校・生徒の個別事情にも配慮した柔軟な対応をお願いします

- ・高校生は面接機会が限られています。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に十分に留意しつつ、職場の雰囲気や伝わるよう、工夫いただくようお願いします。
- ・面接直前に生徒が感染したり、濃厚接触者となる可能性があるほか、ワクチン接種日と面接日が重なるなどのケースも考えられます。面接方法（対面又はオンライン）に関わらず、状況に応じて日程を変更するなど、柔軟に対応するようお願いします。

オンライン面接を行う場合は、学校・生徒の通信環境等に配慮するようお願いします

- ・学校で使用できるオンライン面接会場や通信機器には限りがあります。面接日の複数設定や、企業による機器や面接会場の用意など、学校とも事前に調整した上で、最大限、柔軟な対応をお願いします。
- ・学校との調整に際しては、学校ごとに通信環境が異なるほか、学校の面接会場確保や教員の対応が難しい場合もあることに御留意ください。
- ・通信料などの経済的な負担の観点等から、生徒の自宅以外での実施としてください。
- ・面接の流れやトラブル発生時の対応について、学校と事前に打合せを行うようお願いします。
- ・企業側がオンライン面接会場を用意する場合でも、実際に使用するWeb会議ツールを学校にもお知らせください。

公正な採用選考をお願いします

- ・採用選考は、応募者の**基本的人権**を尊重するとともに、職務遂行上必要な本人の**適性・能力**に基づいた**基準**により行うことが大切です。
- ・例えば、オンライン面接に対応できることや、対面での面接においてPCR検査実施済であることを必須の条件とするなど、**適性・能力とは関係のないこと**で、**不利益な取扱い**を行うことのないようお願いします。

詳しくは、公正採用選考特設サイトをご覧ください。
<https://kouseisaiyou.mhlw.go.jp/>

